

# 第4章 生きがいづくりの推進及び社会活動への参加促進

高齢者が生きがいを持って生活することは、健康を保持していくために非常に重要なことです。市では、地域で高齢者の能力や経験が発揮できる社会参加の機会の充実、様々な年代の人々との交流や自主活動への支援を行っていきます。

生きがいづくりの推進及び 社会活動への参加促進	第1節 敬老事業
	第2節 自主活動への支援
	第3節 交流活動の充実
	第4節 学習活動への支援
	第5節 就業等の支援

## 第1節 敬老事業

多年にわたり社会に貢献し、また、人生経験豊かな高齢者を敬愛することは、国民として大切なことです。また、長寿は喜ばしいこととして、古来から節目ごとにお祝いをしてきました。市及び社会福祉協議会では、敬老事業として、節目を迎えた高齢者を対象に長寿祝金・記念品を支給しています。

長寿祝金 (単位：人)

	24	25	26
88歳	<b>295</b>	<b>337</b>	<b>383</b>
99歳	<b>17</b>	<b>22</b>	<b>22</b>
100歳 以上	<b>29</b>	<b>32</b>	<b>34</b>

記念品の支給等 (単位：組、人)

	24	25	26
金 婚 式 夫 婦	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>55</b>
米 寿	<b>127</b>	<b>139</b>	<b>176</b>
白 寿	<b>18</b>	<b>23</b>	<b>22</b>
100歳 以上	<b>29</b>	<b>32</b>	<b>37</b>

※社会福祉協議会にて実施

## 第2節 自主活動への支援

### 1 長寿クラブ連合会活動への支援

長寿クラブは、社会奉仕活動や健康づくり、趣味、教養など様々な活動を通して生きがいが高めることを目的に、地域の高齢者により自主的に組織、運営されている団体です。市では、地域の単位クラブ及び長寿クラブ連合会の活動の支援を行っています。また、会報の発行及び会員、クラブ間の交流を深め、会員数の増加や組織の拡充に努めています。さらに、魅力あるクラブづくりを進めるための活動を支援します。

各年度 4月1日現在

	24	25	26
団 体 数	67	73	69
会 員 数	2,385	2,459	2,256

### 2 生涯スポーツ

高齢者が健康を保つためには、日頃の健康管理が大切です。規則正しい生活を継続するとともに、適度に身体を動かし、楽しく汗を流すことが必要となります。

長寿クラブでは、ゲートボールやグラウンドゴルフ等のシニアスポーツが行われていますが、より多くの高齢者が様々なスポーツを行えるよう、運動施設の確保や各種軽スポーツの普及に努めます。

## 第3節 交流活動の充実

高齢者が楽しく元気に暮らしていくためには、同世代や若い世代など、幅広く多くの人々との交流を持つことが重要です。

同世代との交流としては、老人福祉センターや地域福祉センター等を利用した仲間づくり、若い世代との交流としては、学校行事への参加や保育所行事への招待がその主な内容となります。また、こうした交流活動の活性化のため、本市では、学校開放や催し物、クラブ活動などの場の提供を積極的に行っていきます。

### 1 老人福祉センター

老人福祉センターは、総合市民センターと豊岡福祉センターに併設されており、地域の高齢者の健康保持と生きがい活動のため、各種相談に対応するほか、カラオケや各種クラブ活動といった趣味や教養などに関する様々な活動の場として提供されています。

今後は、高齢者のニーズに合わせた取り組みを検討し、利用者の拡充に努めます。

(単位：人)

	24	25	26
総合市民センター	23,315	23,422	25,000
豊岡福祉センター	3,831	3,740	3,900

※26は推計値

## 2 地域福祉センター

地域福祉センターは、市内6か所に設置され、多くの方に利用されています。

地域ぐるみ福祉ネットワーク事業の推進を図るため、地域福祉センターの運営を茂原市社会福祉協議会で行っています。

今後も地域の高齢者の連携や文化、教養、福祉の向上を図る場として、時代と共に変化する利用者のニーズに合わせ、施設の効率的利用を図ります。

(単位：人)

	24	25	26
総合市民センター	66,981	59,255	65,000
二宮福祉センター	13,232	12,840	15,100
豊田福祉センター	16,758	17,188	17,300
五郷福祉センター	12,095	11,842	11,600
豊岡福祉センター	12,792	13,847	15,000
東郷福祉センター	19,137	18,433	18,900

※26は推計値

## 3 老人いこいの家

老人いこいの家は、茂原公園内に整備されており、高齢者が生きがいを持った日々を過ごすため、教養や趣味活動の場として提供しています。

	24	25	26
延べ利用団体	186	182	194
延べ利用者	4,165	3,483	3,714

※26は推計値

## 4 子ども達との交流

高齢者と子供達との交流を深めるため、保育所や小学校、中学校の運動会や交流会などに招待し、高齢者の知識や体験の伝承を行う機会をつくります。

また、小学校、中学校においては介護保険施設への訪問等のボランティア活動にも取り組んでいます。今後も、こうした学校教育等の場における福祉教育の推進に努めます。

## 第4節 学習活動への支援

市民一人ひとりが、自己の向上とより充実した生活を送るためには、学校での教育とともに、生涯のいつの時点でも、自由に学習機会を選択して学ぶことが重要となります。

こうした学習活動を行うことは、健康な身体や生きがいを育み、人間の尊厳を高め、学ぶ喜びを深めることにもつながっていきます。そして、意欲のある高齢者の社会参加促進につながるような学習機会の提供も必要となってきます。

そこで、高齢者が、健康保持や生活上の安全に関する習慣や態度を養うこと、趣味を広げて生きがいを見出すこと、職業人として培った専門性を職業活動の継続や地域活動への参加に生かすこと、自分の生き方・役割を認識して積極的に若い世代と交流すること、地域の中で知恵や技術を生かした文化の伝承に努めることなどができるような学習プログラムを開発して、学習機会の充実を図ります。

また、こうした学習機会に関する情報提供体制を充実させることも必要となります。そのため、広報や情報誌、ホームページ等を拡充させ、情報提供システムの構築に努め、千葉県や近隣市町村等の生涯学習施設との連携を図るとともに、気軽に相談できる体制の整備にも努めます。

### 1 生涯大学校

社会環境の変化にはめまぐるしいものがありますが、高齢者もできるだけこの変化に順応し、心豊かで生きがいのある生活を営むことが大きな課題となっています。

平成11年4月より身近に学習の機会が得られる場として、生涯大学校「外房学園」が本市に開校しました。生涯大学校は、55歳以上の方々が恵まれた学習環境の中で、新しい知識を身につけ、広く仲間づくりを図るとともに、学習の成果を地域活動で役立てるなど、社会参加による生きがいの高揚に資することを目的としており、市としては、生涯大学校の啓蒙に努めています。

(単位：人)

	24	25	26
地域活動学部		67 (100)	66 (100)
造形学部園芸		64 (70)	78 (70)
造形学部陶芸A		15 (25)	24 (25)
造形学部陶芸B		11 (25)	16 (25)
合計		157 (220)	184 (220)

※25年度から学部・学科の見直しが行われました。(カッコ内の数値は定員数)

## 2 市民カレッジ等との連携

市の生涯学習課では、一般成人向けに市民カレッジ等を実施しており、この中で、高齢社会に対応した介護や福祉、健康などをテーマとした講座の企画があります。

また、市職員が講師となり地域に出向いて説明を行う「出前講座」を開催しています。このメニューの中に「介護保険制度のはなし」「認知症の正しい理解（介護予防のために）」「だいじょうぶ？あなたの健康（健康づくりの話）」等があります。

広く市民に対して高齢社会の問題や制度等の学習機会を提供する際には、市の介護、福祉、保健等の担当課が協力し、連携していきます。

## 第5節 就業等の支援

公益社団法人茂原市シルバー人材センターは、市内居住の定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業機会を組織的に提供し、高齢者の生きがいの充実や社会参加を推進し、能力を生かした活力ある地域づくりに寄与することを目的に、平成3年10月に設立されました。

高齢者に対して就労の場を提供することは、高齢者の働く意欲を満たすとともに、高齢者の持っている経験や知識を有効に活用することにもなります。高齢者が就業できる場の確保や仕事を通じた社会参加を進めるうえで、シルバー人材センターの果たす役割は大きく、今後もセンターの活動が一層活発に行われるよう支援するとともに、事業の普及啓発活動、会員の確保に努め、就業機会の拡大を図れるよう連携していきます。

	24	25	26
会 員 数	352	398	410
就 業 延 人 数	37,516	35,656	35,233

※26は推計値